

YONEX特別協力

トークショー& バドミントンクリニック

美郷町と連携協定を結ぶヨネックス株式会社の特別協力のもと、元日本代表選手を講師に招いた「トークショー&バドミントンクリニック」が11月13日に美郷町総合体育館リリオスで開催されました。

講師には潮田玲子氏・高橋礼華氏・田中志穂氏の3名を招き、トークショーでは練習や試合で心掛けていることや実体験などが話されました。その後、行われた美郷中学校バドミントン部を対象としたクリニックでは、元日本代表選手の指導に目を輝かせる生徒たちの姿が見られました。最後には講師と生徒のエキシビションマッチが行われ、会場は大いに盛り上がりました。



挑戦のDNA

美郷カレッジ

秋田市大森山動物園長・小松守氏が講師を務めた美郷カレッジが11月13日に美郷町公民館で開催されました。今回の講演は「動物世界を通して人を考える」と題して行われ、小松氏は「動物は逆境に立ち向かう『挑戦のDNA』を持っている。自然の中で動物と人は同じ」と話したうえで、「人は歳を重ねるごとに悩ましく、難しいことが多くなるが、生き物、動物の本質である『挑戦のDNA』の存在を忘れずに、いつも何かに挑戦したい」とも話しました。

“起源と対話”木・火・土・金・水

大小島真木氏 図録出版記念会

昨年度開催された大小島真木氏の特別展などを記録した図録の出版記念会が11月14日に名水市場湧太郎・國之譽ホールで開催されました。

大小島氏はあいさつで「この図録は絵がどうやって作られ、どうやってシンボルとなろうとしたのか言葉として持っている」と話しました。記念会終了後、図録を先行購入した方を対象に、大小島氏ご本人によるサイン会が行われ、サイン入りの図録をうれしそうな表情で見つめる参加者の姿が見られました。なお、この図録は美郷町学友館・公民館・北ふれあい館(毎週火曜日から土曜日)にて1冊2,000円で販売しています。



MISATOPICS

町の話



「鴻鵠の志」育成事業

町内の小中学校や施設などに壁画を描いた現代美術家・大小島真木氏が講師を務めた「『鴻鵠の志』育成事業」が11月15日に美郷中学校で開催されました。

大小島氏は「生命の螺旋、絡まり合う生と死を通して」と題して講演し、「目に見えることだけではなく、目に見えないことの中にも大事なことはある。それらを表現したい、伝えたい」と話しました。

このほか講演では、児童・生徒との質疑応答が行われました。



戦略

COLUMN
WINDS
コラム

風

美郷町長
松田知己

先月上旬、ある植物の生き残り戦略に感動しました。というか困りました。アメリカセンダングサ（たぶん）、通称「のさばりこ」の戦略です。冬囲いが終了した自宅庭を散策したところ、ズボンや上着の腕に「ここまでくつつくか」というほど「のさばりこ」がびっしり。取り去るのが大変でしたが、ほんの少しの接触で種を引っ掛けて、運ばせることで自生域を広げる生き残り戦略に脱帽です。

そういえば10月中旬には、庭の糸杉に野葡萄が絡んでいるのを見つけました。はじめは実の色彩の美しさに見惚れていましたが、次に「なんでここに野葡萄が？」という疑問。考えれば答えは一つで、鳥が種を運んできたに違いないわけですが、食べさせて運ばせる戦略。植物の生き残り戦略もいろいろです。こうした植物の戦略は、いわば攻めの生き残り策だろうと思えますが、現在の私たちの生活環境を重ねてみると、何か考えさせられるところです。

さて、新型コロナウイルスは10月に入り感染拡大が徐々に収束し、11月は低い水準で推移しているところです。その理由はいろいろ論じられておりますが、とにかくこのまま抑え込み状況が継続されることを祈るところです。そのためにも、緩まず細心の注意を継続することが基本中の基本になります。みなさんには怠りなく対応をお願いいたします。また、町としては感染抑制に向けた最大の「攻めの戦略」であるワクチン接種について、

国の方針「2回目から原則8カ月以上の間隔」に基づき3回目接種の準備を進めています。

既に医師会とも意見交換して会場および日程を調整しており、町では1月下旬に医療従事者向けの集団接種を行う予定です。そして2月下旬には2回目接種の終了順に町民向けの集団接種を行います。前回は電話予約で混乱が生じたので、今回はその経験を踏まえ、接種日をおらかじめ指定させていただきます。そしてどうしても都合が悪い場合、接種日を変更できる仕組みとする予定で、できる限りスムーズに3回目接種が進むよう、その戦略を練っているところです。

今年もひと月。来年に繋がる戦略はいまが考えどころです。



大小島真木氏の図録出版記念会であいさつをする松田町長